

강헌

죄과 명리학

이른세미나 VI

命理

제 七 강

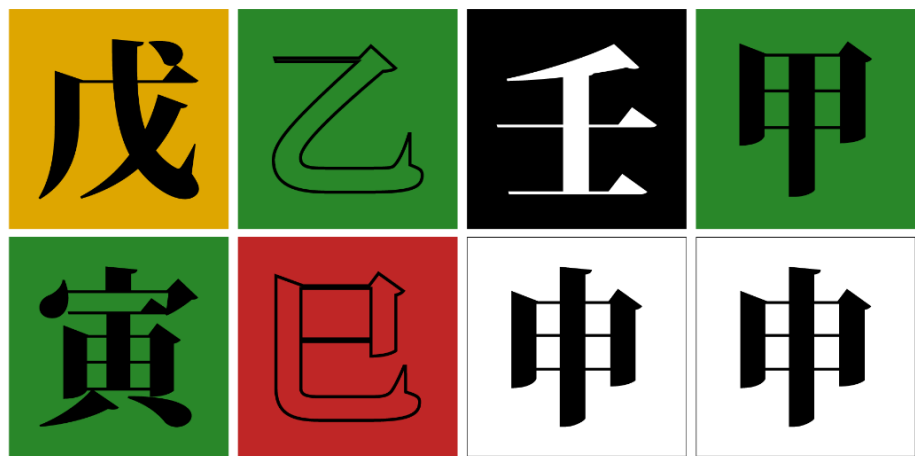
자평진전 子平眞詮

卷 四

論正官

官以剋身. 雖與七煞有別. 終受彼制. 何以切忌刑破害.
尊之若是乎. 豈知人生天地間. 心無矯焉自尊之理.
雖貴極天子. 亦有天祖臨之. 正官者分所當尊.
如在國有君. 在家有親. 刑沖破害. 以下犯上. 烏乎可乎.

以刑沖破害爲忌. 則以生之護之喜矣.
存其喜而去其忌則貴. 而貴之中又高底者,
何也. 以財印竝透者論之. 兩不相礙. 其貴也大.
如薛相公命

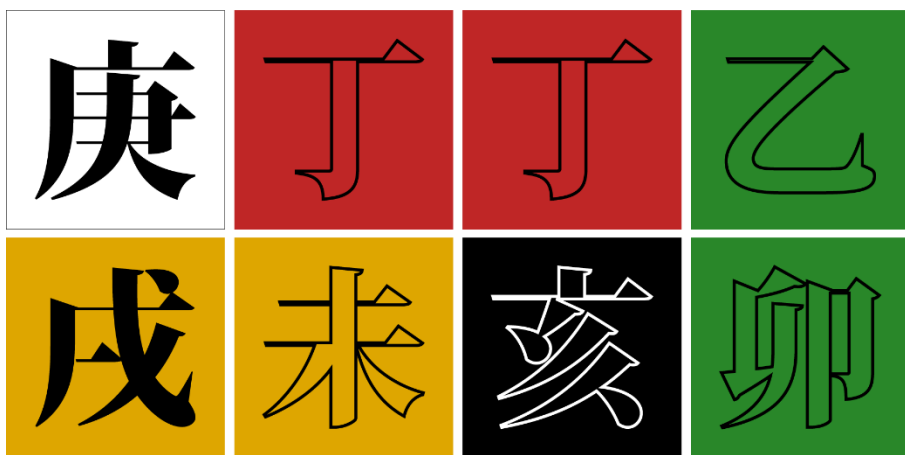


壬印戊財. 以乙隔之.
水與土不相礙. 故為大貴.



雜氣正官. 透干會支.
最為貴格. 而壬財丁印.
二者相合. 仍以孤官無輔論.
所以不上七品.

若財印不以兩用. 則單用印不若單用財.
以能護官. 亦能洩官. 而財生官也.
若化官爲印而透財. 則又爲甚秀. 大貴之格也.
如金狀元命.



此竝用財印. 無傷官而不雜煞. 所謂去其忌而存其喜者也.

至於官格透傷用印者. 又忌見財. 以財能去印.
未能生官. 而適以護傷故也. 然亦有逢財而反大貴者.
如范太傅命



支具巳丑. 會金傷官. 丙丁解之. 透壬豈非破格.
卻不知丙丁竝透用一而足. 以丁合壬而財去.
以丙制傷而官清. 無情而愈有情. 此正造化之妙.
變幻無窮. 焉得不歸.

論正官取運

如正官取運. 卽以正所統之格分而配之. 正官而用財印. 身稍輕則取助身. 官稍輕則取助官. 若官露而不可雜煞. 不可重官. 與地支刑沖. 不問所就何局. 皆不利也.

正官用財運喜印綬身旺之地. 切忌食傷.
若身旺而財輕官弱. 卽仍取財官運可也.

正官佩印. 運喜財鄉. 傷食反吉.
若官重身輕而佩印則旺爲宜. 不必財運也.

正官帶傷食而用印制. 運喜官旺印旺之鄉.
財運切忌. 若印綬疊出. 財運亦無害矣.

正官而帶煞. 傷食反爲不礙. 其命中用劫合煞.
則財運可行. 食傷可行. 身旺印綬亦可行.
只不可復露七煞. 若命用傷官合煞.
則傷食與財俱可行. 而不宜逢印矣.

論財

財爲我剋. 使用之物也. 以能生官. 所以爲美.
爲財帛. 爲妻妾爲財能. 爲驛馬. 皆財類也.

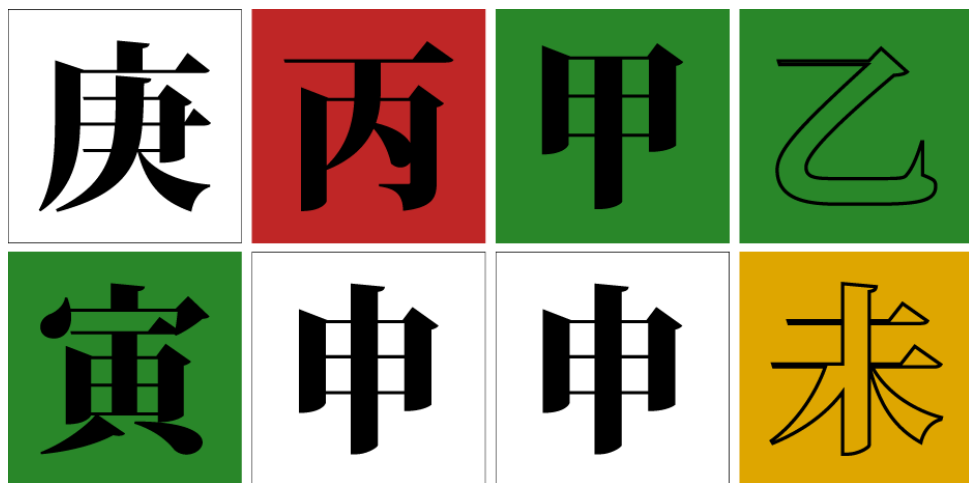
財格之貴局不一. 有財旺生官者.
身強而不透傷官. 不混七煞. 貴格也

有財用食生者. 身強而不露官. 略帶一位比劫. 益覺有情.



楊侍郎之命是也. 透官身弱. 則格壞矣.

有財格佩印者. 蓋孤財不貴. 佩印幫身. 卽以取貴.



曾參政之命是也. 然財印不宜相竝.

有用食而兼用印者. 食與印兩不相礙.
或有暗官而去食護官. 皆貴格也.
如吳榜眼命.

丙	戊	戊	庚
辰	子	子	戌

庚與丙隔兩戊而不相剋. 是食與印不相礙也.

有財帶煞者. 或合煞存財. 或制煞生財. 皆貴格也.
毛狀元命



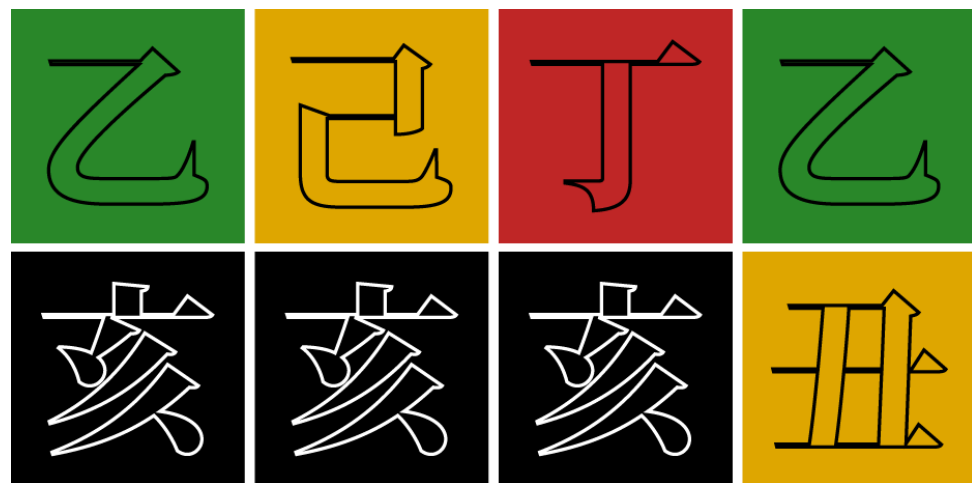
合煞存財也

李御史命。



制煞生財也。

有財用煞印者. 當煞爲忌. 印以化之.
格局富局. 若冬土逢之亦貴格.
如趙侍郎命.



化煞而卽以解凍.

又不露財以雜其印. 所以貴也. 若財用煞印而印獨.
財煞竝透. 非特不貴亦不富也.
至於劫刃太重. 棄財就煞.
如一尙書命.



此變之又變者也.

論財取運

財格取運. 卽以財格所就之局. 分而配之. 其財旺生官者. 運喜身旺印綬. 不利七煞傷官. 若生官而復透印. 傷官之地. 不甚有害. 至於生官而帶食破局. 則運喜印綬. 而逢煞反吉矣.

財用食生. 財食重而身輕. 則喜助身.
財食輕而身重. 則仍行財食. 煞運不忌. 官印反晦矣.

財格佩印. 運喜官鄉. 身弱逢之最喜印旺.

財用食印. 財輕則喜財食.

身輕則喜比印. 官運亦礙. 煞反不忌也.

財帶傷官. 財運則亨. 煞運不利. 運行官印. 未見其美矣.

論印綬

印綬喜其生身. 正偏同為美格.

有印而用傷食者. 身強印旺. 恐其太過. 洩身為秀氣.



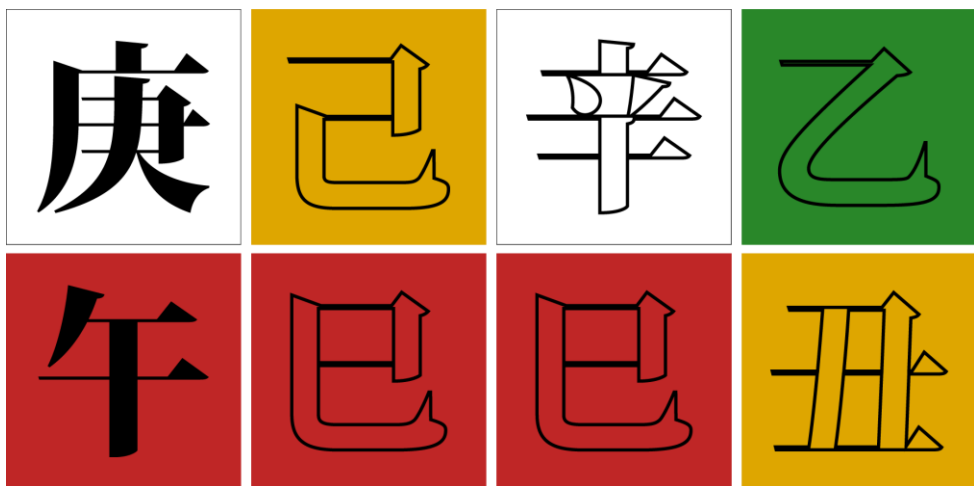
李狀元命是也. 若印淺身輕. 而用層層傷食. 則寒貧之局宜.

有用偏官者. 偏官本非美物. 籍其生印. 不得已而用之.
故必身重印輕. 或身輕印重. 有所不足. 始為有情.
如茅狀元命.



此身輕印重也.

有用煞而兼帶傷食者. 則用煞而有制.
生身而有洩. 不論身旺印重. 皆為貴格.



孫布政命是也

有印多而用財者. 印重身強.
透財以抑太過. 權而用之. 只要根深. 無妨財破.



汪侍郎命是也. 若印輕財重.
若印輕財重. 又無劫財以救. 則爲貪財破印. 貧賤之局也.

至於化印爲劫. 棄之以就財官.
如趙知府命.



則變之又變者矣.

論印綬取運

印格取運. 卽以印格所成之局. 分而配之.
其印綬用官者. 官露印重. 財運反吉. 傷食之方. 亦爲最利.
若用官而竝帶傷食. 運喜官旺印綬之鄉.
傷食爲害. 逢煞不忌矣.

印綬而用傷食. 財運反吉. 傷食亦利.
若行官運. 反見其災. 煞運則反能爲福矣.
印用七煞. 運喜傷食. 身旺之方. 亦爲美地.
一見財鄉. 其凶立至.
若用煞而兼帶傷食. 運喜身旺印綬之方.
傷食亦美. 逢官遇財. 蓋不吉也.

印綬又財. 運喜劫地. 官印亦享. 財鄉則忌
印格而官煞競透. 運喜食神傷官.
印旺身旺. 行之亦利. 若再透官煞. 行財運. 立見其災矣.
印用食傷. 印輕者亦不利見財也.

적천수

제9장 운세

운세 (運勢)

休咎係乎運 尤係乎歲

휴구계호운 우계호세

戰冲視其孰降 和好視其孰切

전충시기숙항 화호시기숙절

재앙을 덜고 더하는 것은 대운(大運)에 달렸고, 특히 세운(歲運)에 달려 있다.

충(冲)이 일어나 서로 싸움을 한다면 누가 항복하는지를 보아야 하고

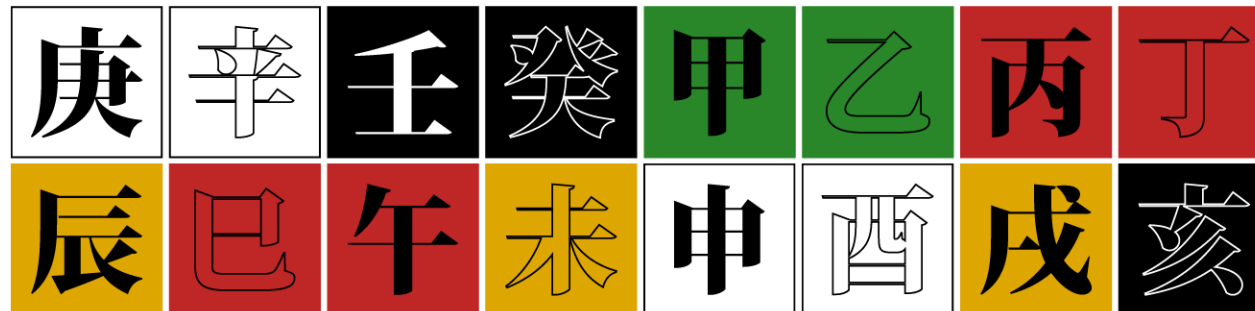
합(合)이 일어나 서로 화목하기를 원한다면 누가 절실한가를 보아야 한다.

세운(歲運)이 대운(大運)을 도운 경우

丁	庚	丁	庚
丑	辰	亥	辰

乙	甲	癸	壬	辛	庚	己	戊
未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子

세운(歲運)이 대운(大運)을 돕지 않은 경우



何爲戰 何爲沖 何爲和 何爲好

하위전 하위충 하위화 하위호

무엇을 일러 전(戰)이라 하고
무엇을 일러 충(沖)이라 하며
무엇을 일러 화(和)라고 하며
무엇을 일러 호(好)라고 하는가

세운(歲運)이 대운(大運)을 극하는 경우

庚	丙	甲	辛
寅	辰	午	卯

丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳

적천수

제10장 육친

부부(夫婦) - 재성(財星)이 처(妻)

夫妻因緣宿世來

부처인연속세래

喜神有意傍天財

희신유의방천재

남녀가 혼인을 하여 인연을 맺는 것은 전생(前生)으로부터 오는 것인데
재성(財星)이 희신(喜神)으로 곁에서 돕는다면
하늘의 재물[妻福, 처복]을 얻으리라

재성이 희신(喜神)인 경우

丁	庚	乙	癸
丑	申	丑	卯

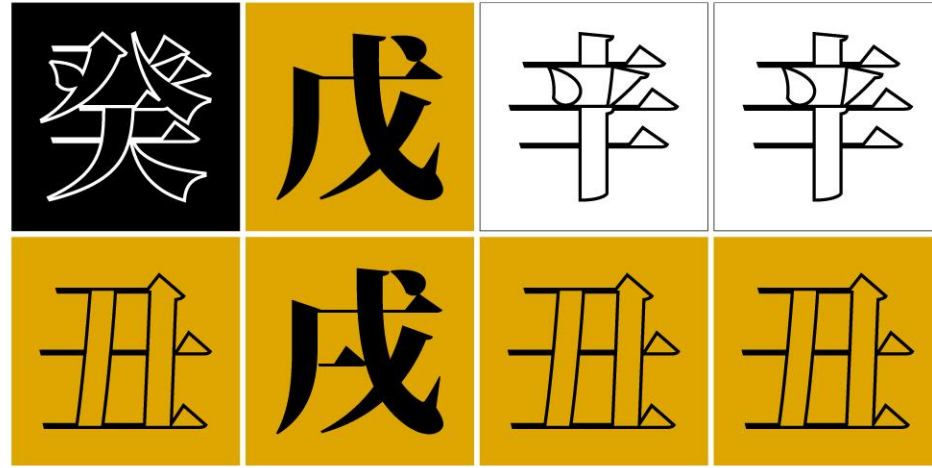
丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲
巳	午	未	申	酉	戌	亥	子

재성이 기신(忌神)인 경우

壬	丙	庚	乙
辰	申	辰	亥

壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯

일주가 왕(旺)한데 인수는 없고 식상이 있어 자식이 많은 경우



일주가 약(弱)하고 인수가 가벼운데[經, 경]재성이 있어 자식이 없는 경우

